

世界が進むチカラになる。



グラフで見る東海経済 (2023年11月)

2023年11月29日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直している

【今月のポイント】

- 東海経済は、持ち直している。
- 9月の生産は、前月比で2ヵ月ぶりのプラスとなり、均してみると持ち直している。
- 10月の実質輸出は季節調整済前月比で2ヵ月連続の上昇となり、持ち直している。10月の名目輸出は前年比で21ヵ月連続のプラス。自動車の輸出数量も前年比で2桁増が続いている。
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、社会・経済活動の正常化により持ち直しの動きがみられる。

項目	現状
景気全般	持ち直している
生産	持ち直している(↑)
輸出	持ち直している
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる(↑)
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	例年並みの水準となっている

注：()内は前月からの変化の方向

生産は、「持ち直しの動きがみられる」から上方修正(↑)

雇用は、「持ち直しの動きが鈍化」から上方修正(↑)

生産

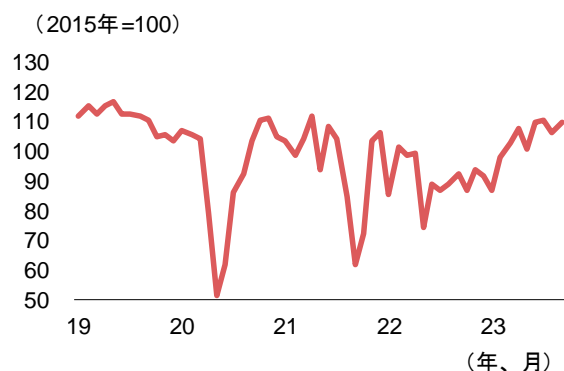
9月の鉱工業生産(東海)は前月比+1.0%とプラスに転じ、均してみると持ち直している。輸送機械、電子部品デバイス、情報通信機械などが増加した。

鉱工業生産指数

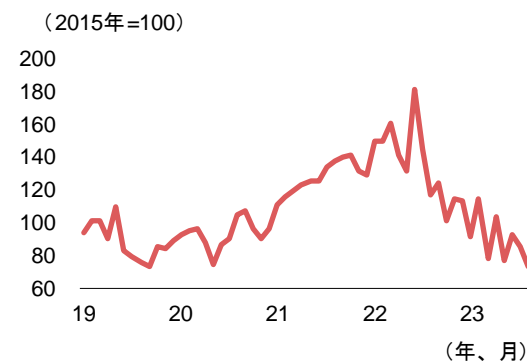


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

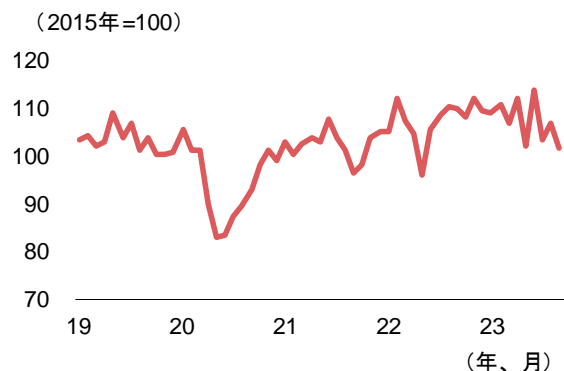
輸送機械



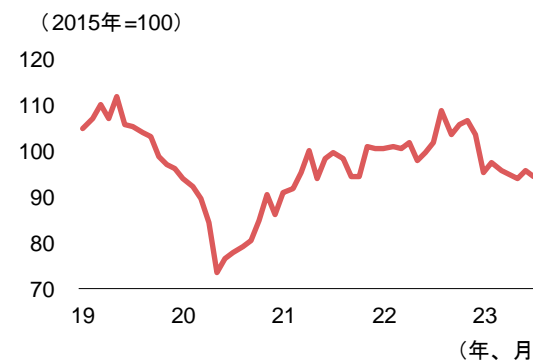
電子部品デバイス



電気機械



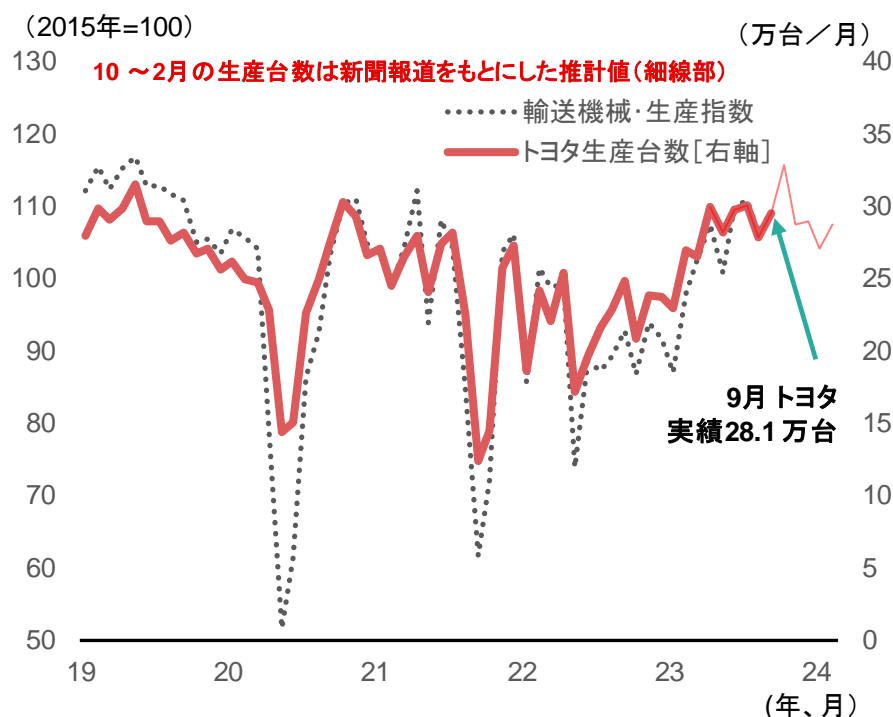
汎用・生産用・業務用機械



生産（トヨタ国内生産）

9月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は28.1万台と前月から増加した。先行きについては、10月は工場停止の影響で計画比で下振れとなる可能性が高いが、その後は、挽回生産もあって9月並みの水準での推移が見込まれる。

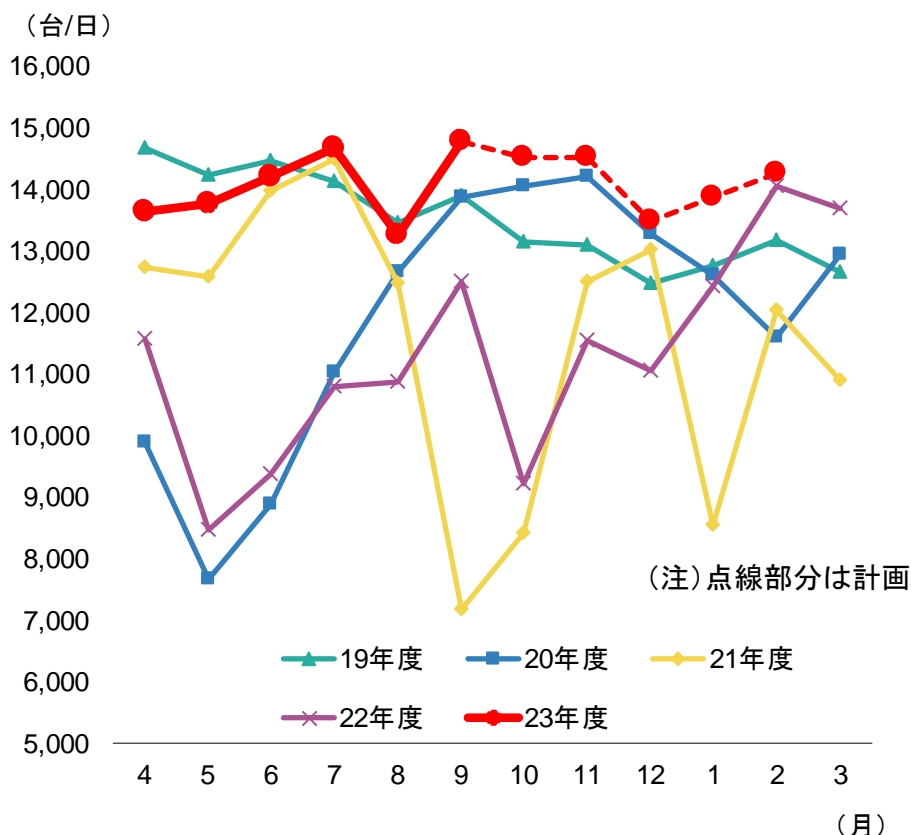
トヨタ月次生産台数（季節調整値）



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの

(出所) 中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

トヨタ日当たり生産台数（原数値）



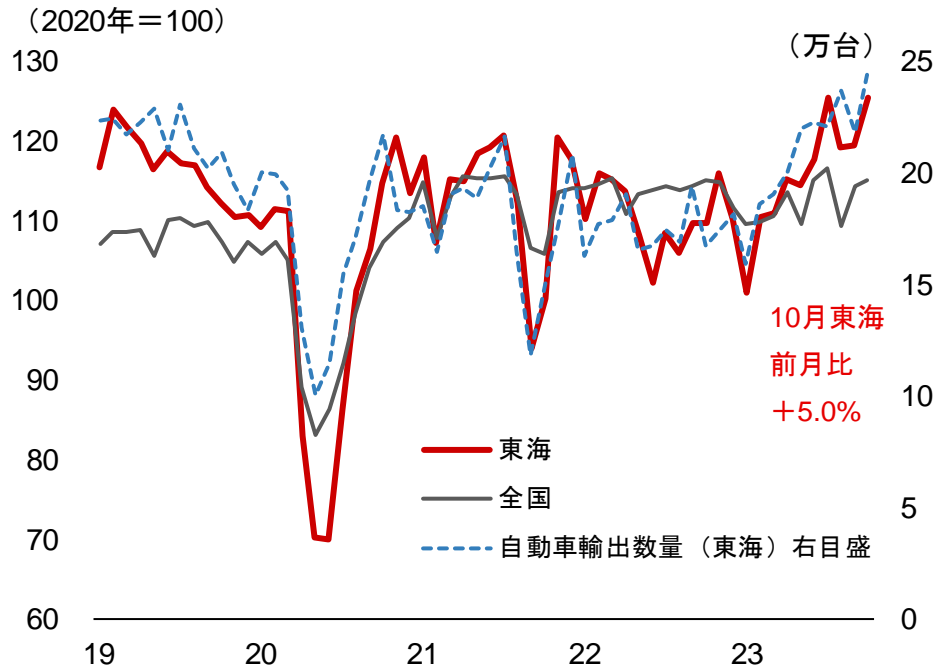
(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

10月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比+5.0%と2カ月連続で上昇し持ち直している。

10月の名目輸出額は、前年比+15.6%と21カ月連続のプラスとなった。業種別では、自動車と同+62.1%(寄与度+15.7%pt)と増加、数量ベースでも同+44.0%と大幅に増加した。地域別ではアジア向けが減少、米国、EU、その他向けが増加した。

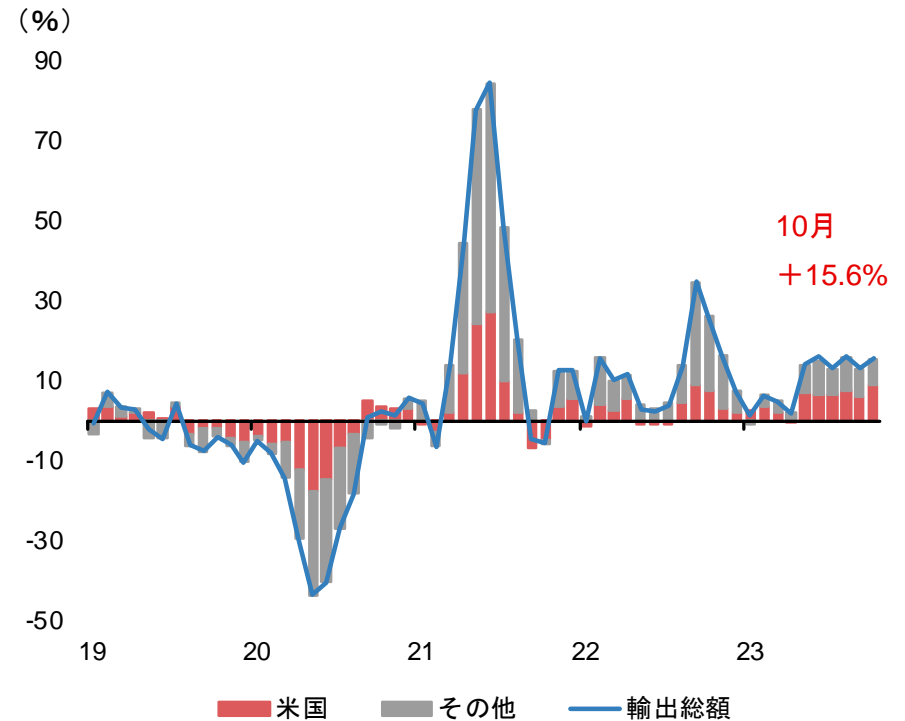
実質輸出指数(季節調整値)



(出所)日銀名古屋支店「実質輸出入」、名古屋税関
(注)自動車輸出数量(名古屋税関)の季調はMURC

(年、月)

名目輸出(前年比、寄与度)



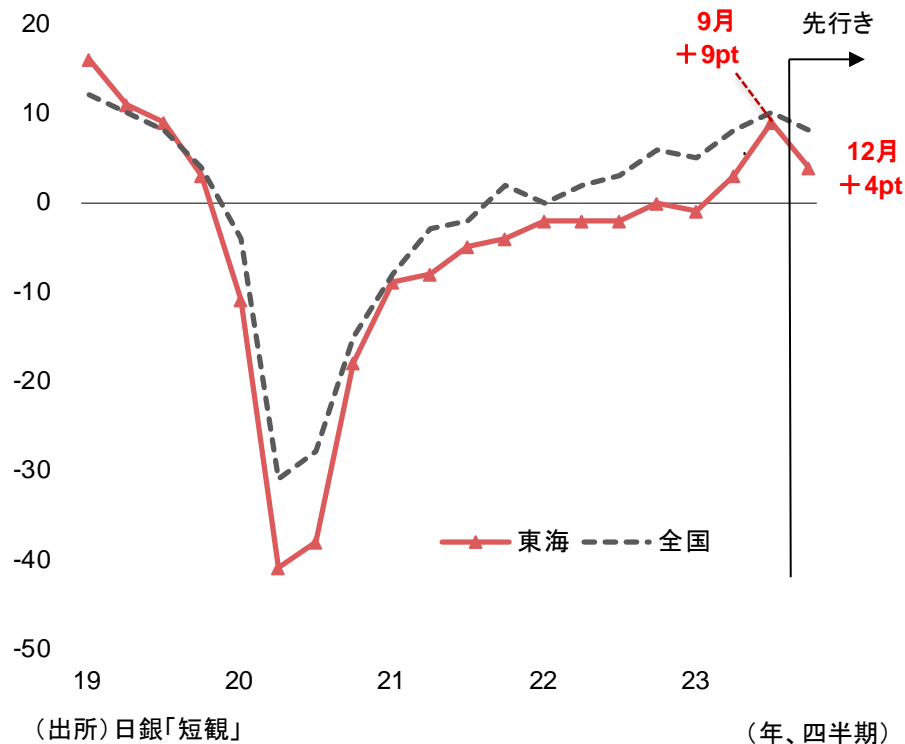
(出所)名古屋税関「管内貿易概況」

(年、月)

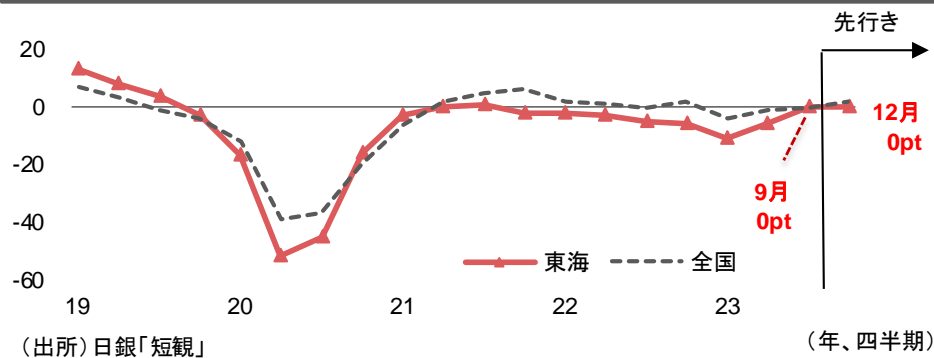
企業景況感(日銀短観) ※以下は10/3公表の9月調査。12月調査は12/13公表予定

日銀短観9月調査の業況判断DIは、全産業で+9ptと6月調査(+3pt)から改善した。製造業、非製造業ともに改善した。製造業では自動車が改善する一方、はん用機械が悪化した。非製造業では、対個人サービスが改善する一方、宿泊・飲食サービスが小幅悪化した。先行きについては、製造業で横ばい、非製造業で悪化を見込んでいる。

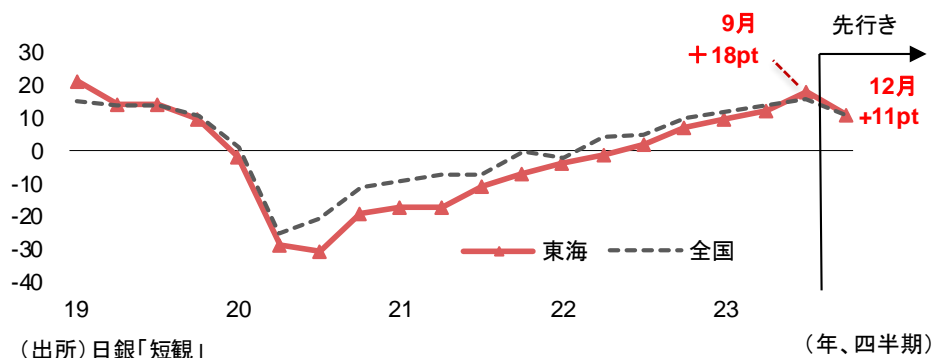
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



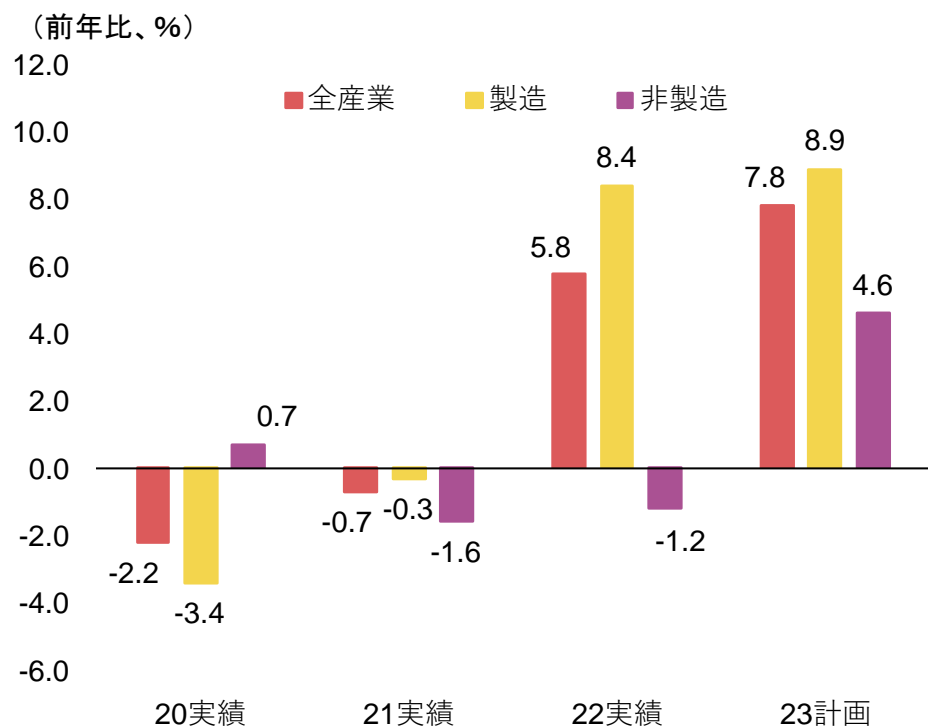
同 非製造業



設備投資（日銀短観） ※以下は10/3公表の9月調査。12月調査は12/13公表予定

日銀短観9月調査によると、23年度の設備投資計画は、全産業で+7.8%と前回調査から小幅下方修正。製造業で前年比+8.9%と上方修正、非製造業で同+4.6%と下方修正となった。

設備投資 実績・計画



設備投資額(前年比%)

	22年度実績	23年度計画		
		今回調査	前回調査との差異	前回調査
全産業	5.8	7.8	(-0.3)	8.1
製造業	8.4	8.9	(0.5)	8.4
非製造業	-1.2	4.6	(-2.5)	7.1

(出所) 日銀名古屋支店「短観」 (年度)
 (注) 含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

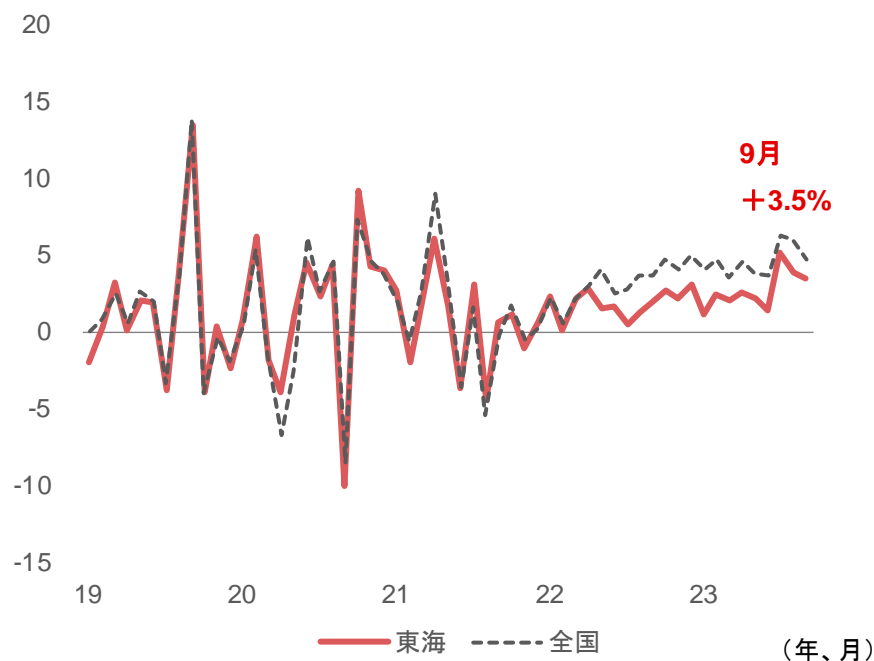
個人消費(小売売上、自動車販売)

9月の小売販売額は前年比+3.5%と22ヵ月連続でプラスとなった。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、社会・経済活動の正常化により持ち直しの動きが続くとみられる。

10月の新車販売は、前年比+15.4%と10ヵ月連続でプラスとなった。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。

小売販売額(6業態計)

(前年比、%)

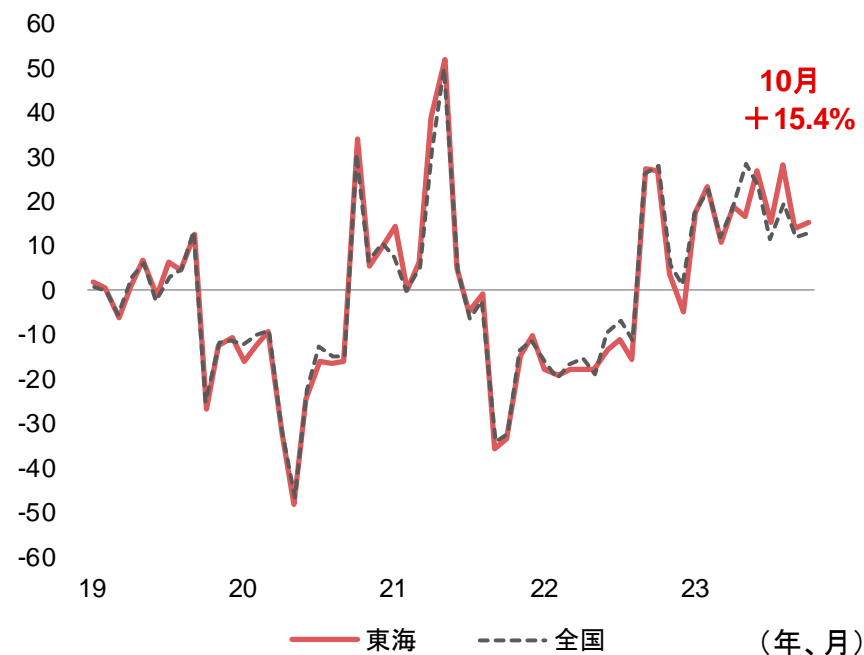


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

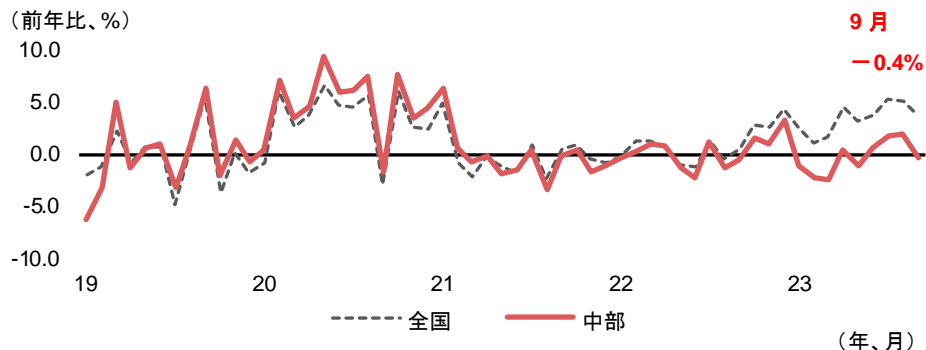
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

9月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)は前年比-0.4%と4カ月ぶりに減少した。

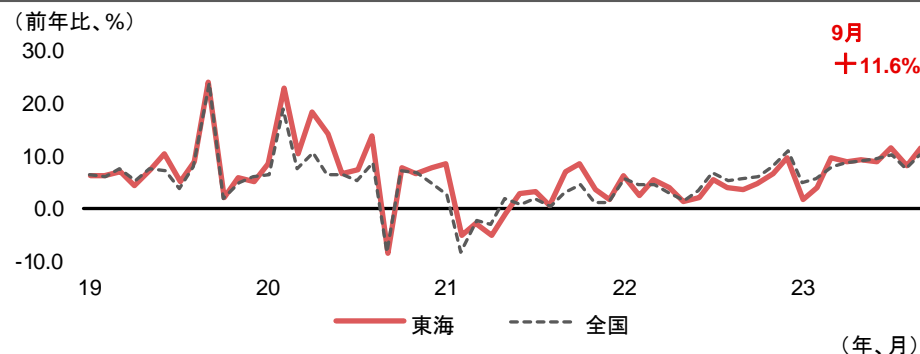
10月の百貨店売上(名古屋)は、高額品販売の好調やインバウンドの増加により前年比+9.2%と25カ月連続のプラスとなった。

スーパー販売額



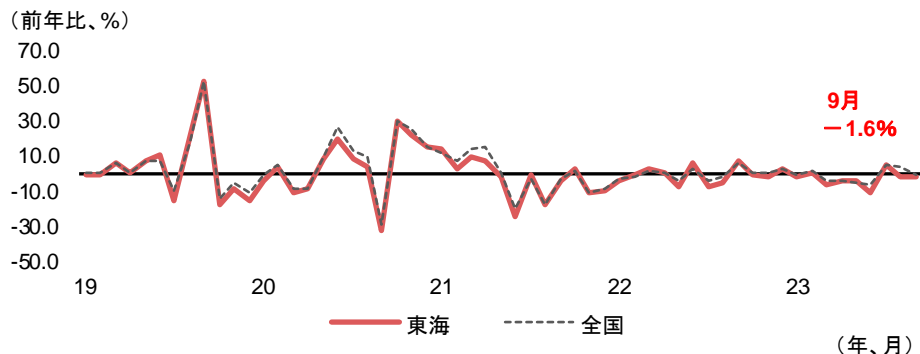
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

ドラッグストア販売額



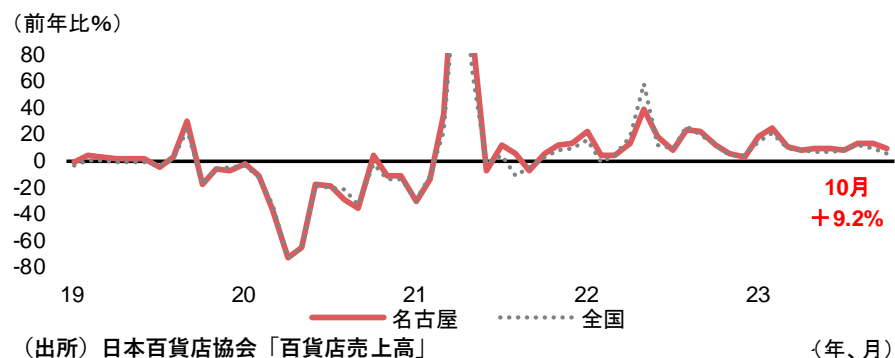
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型販売店販売額



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

百貨店売上高



(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

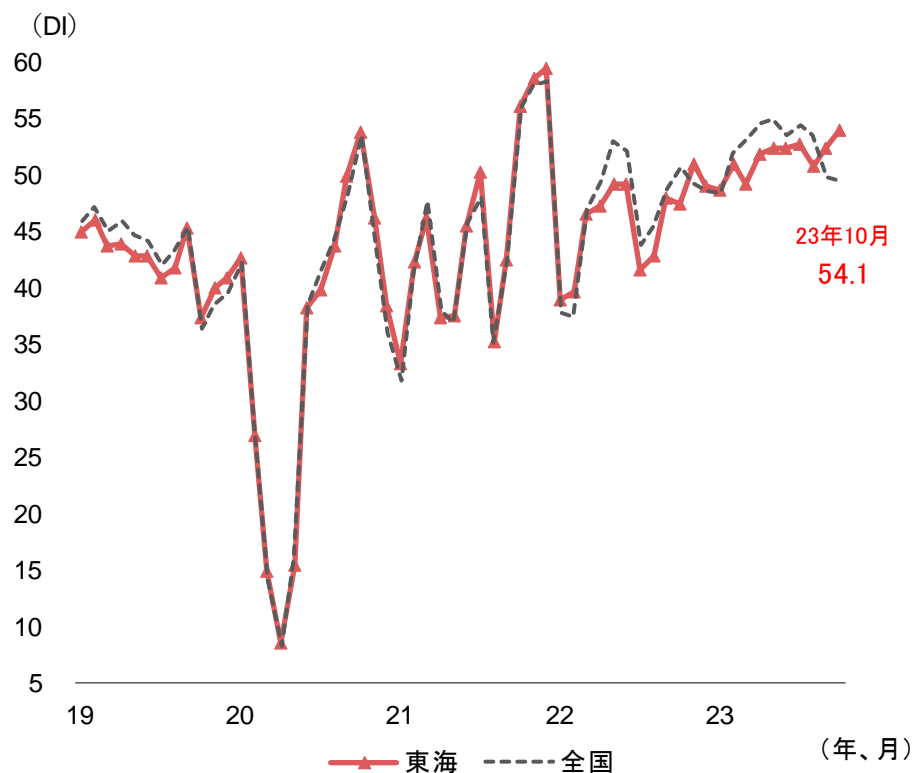
(注) 店舗調整後前年比

マインド・景況感

10月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+1.7ポイントの54.1と2カ月連続で上昇し、横ばいを示す50を7カ月連続で上回った。物価上昇への懸念がみられる一方、新車供給、インバウンドの増加などがプラスに寄与した。

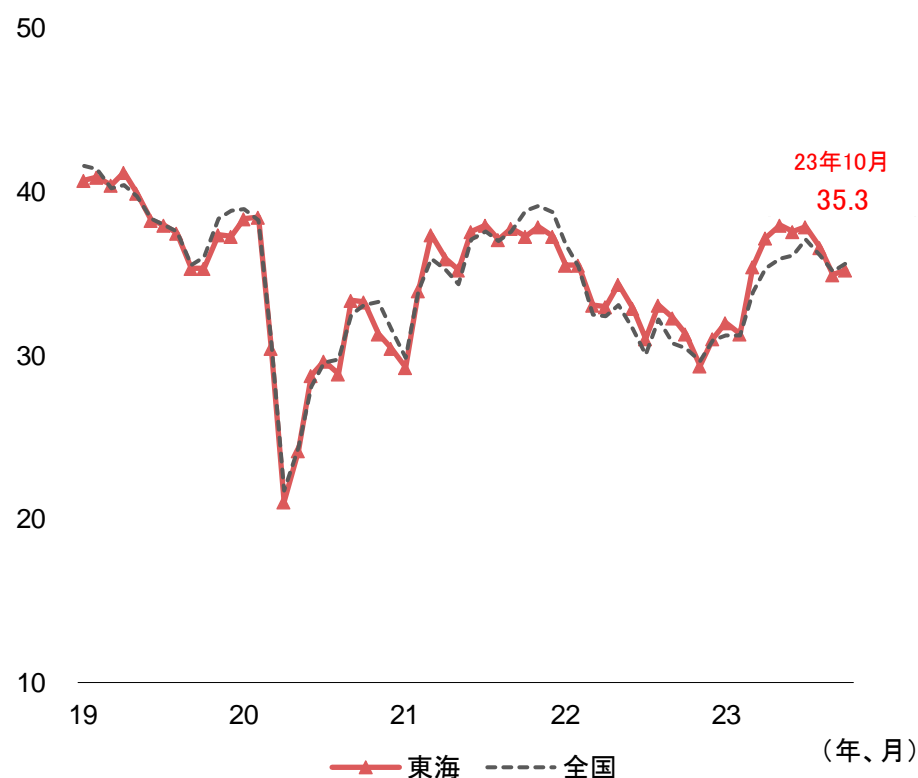
10月の消費者態度指数は、小幅ながら3カ月ぶりに上昇した。

景気ウォッチャー調査(現状判断)



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

消費者態度指数



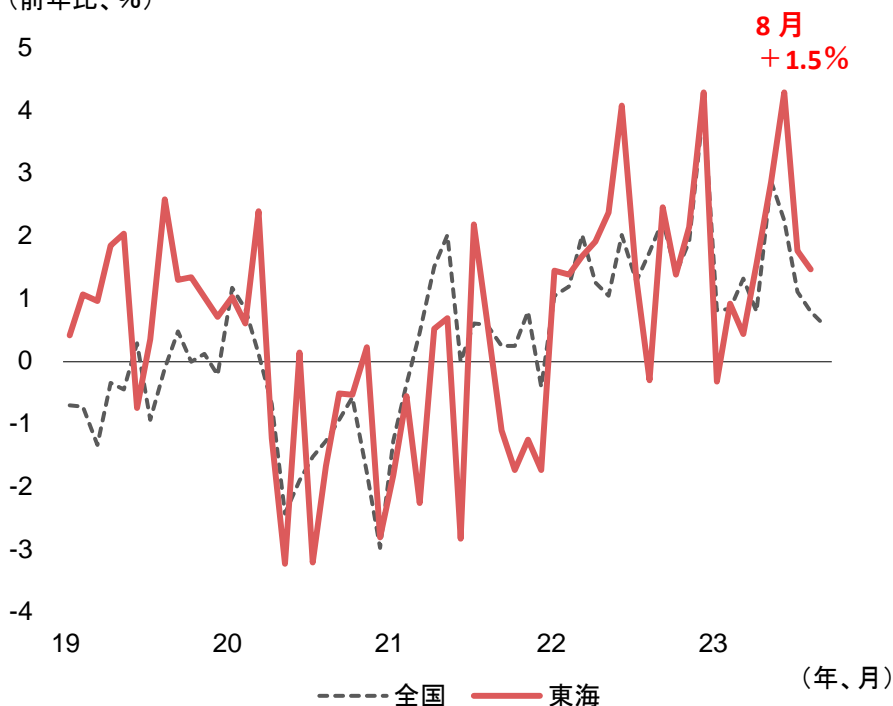
(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

8月の名目賃金は、前年比+1.5%と7ヵ月連続のプラスとなった。岐阜、三重がマイナスとなったが、愛知が増加した。9月の有効求人倍率は1.37と小幅低下。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いている。23年7-9月期の就業者数は小幅減少したが失業者数も減少したため、失業率は1.8%と低下した。

名目賃金指数

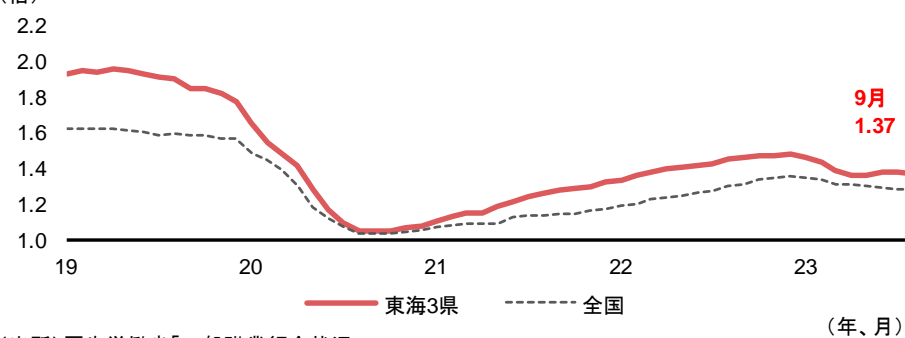
(前年比、%)



(出所)名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

有効求人倍率(季節調整値)

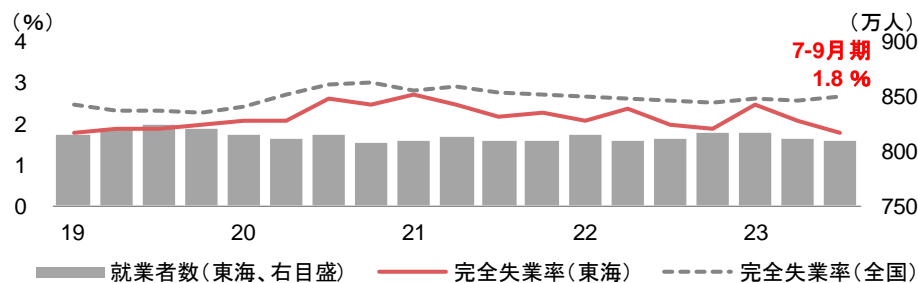
(倍)



(出所)厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

(%)

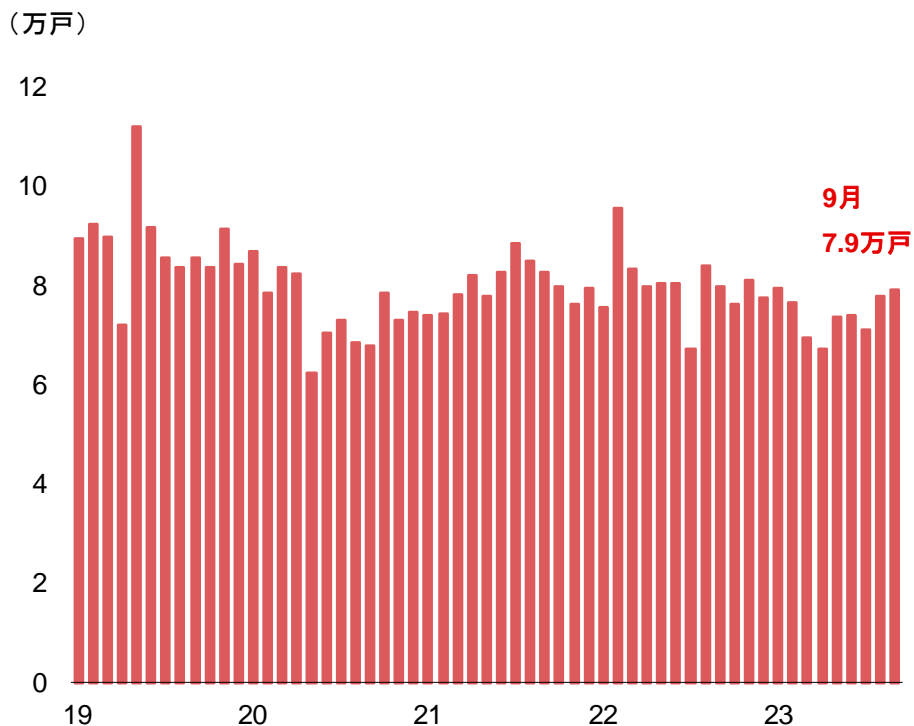


(出所)総務省「労働力調査」

住宅投資

9月の住宅着工は、季調・年率で7.9万戸と2ヵ月連続で増加。一方、前年比では2ヵ月連続で前年を下回り（前年比-0.8%）弱含みが続くが、マイナス幅は縮小傾向となっている。利用関係別では分譲マンションは増加したが、持家、貸家、分譲戸建が減少した。

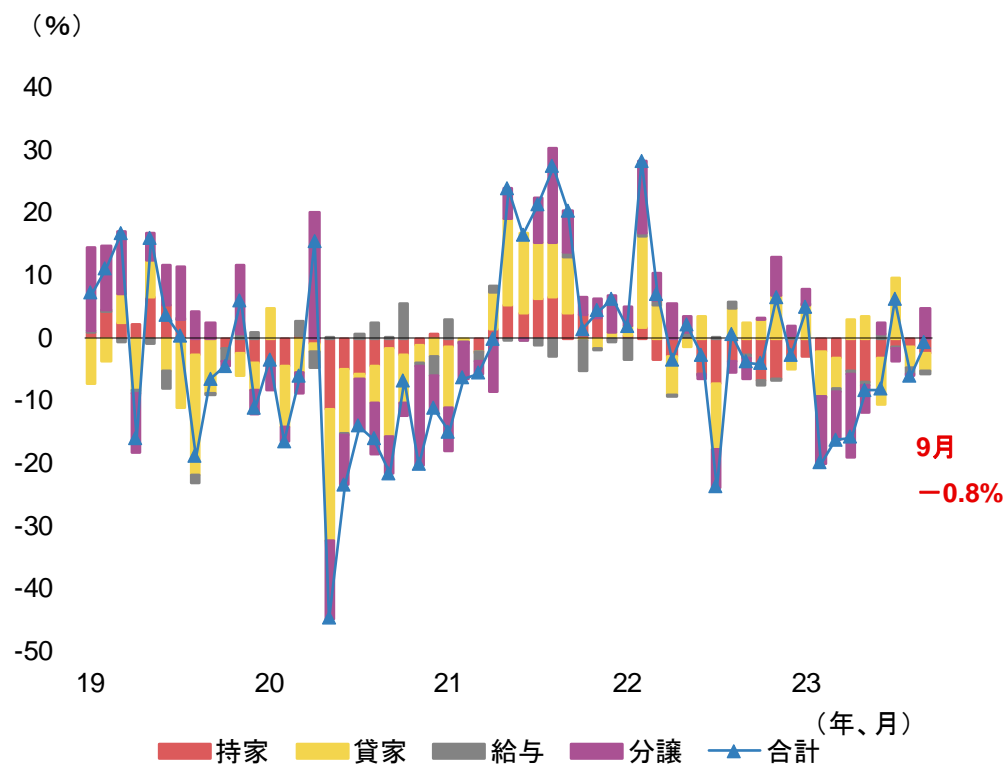
新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

(年、月)

新設住宅着工戸数(前年比)

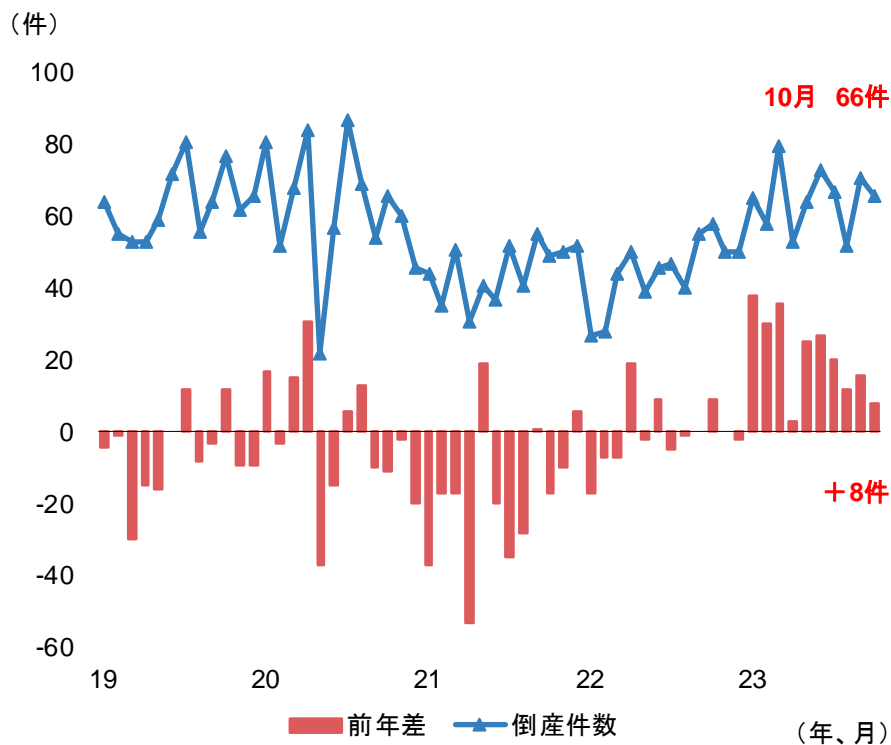


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

10月の倒産件数は前年差+8件の66件。コロナ前程度の水準となっている。

倒産件数

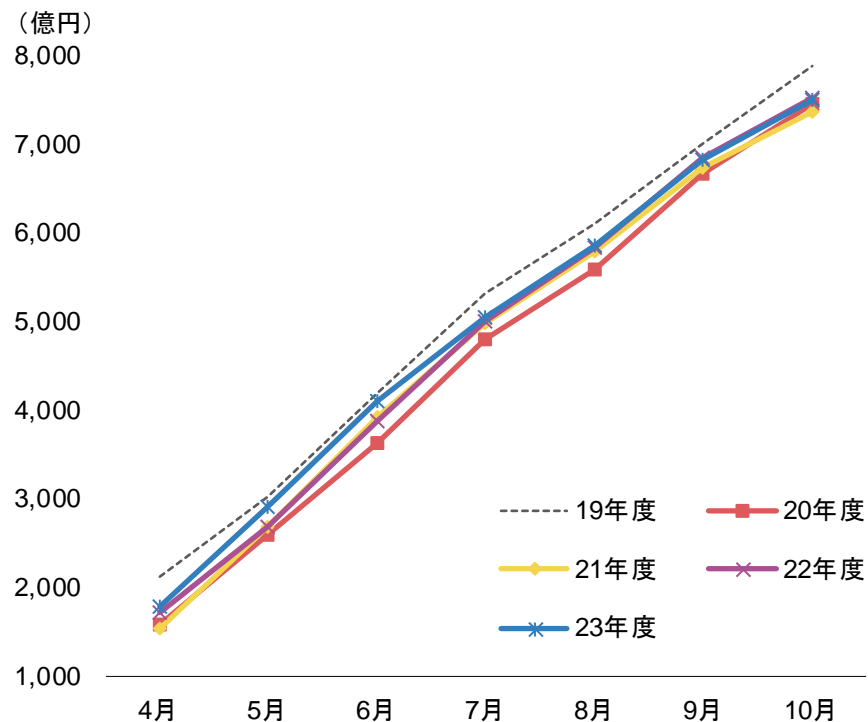


(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

10月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比-0.1%の7,514億円と例年並みの水準となっている。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー